

政策調査会長補佐 就任



10月5日玄葉光一郎国家戦略担当大臣室にて

政調会長補佐に就任

私は、民主党における政策決定の責任者である玄葉光一郎政策調査会長を支える「政策調査会長補佐」を拝命しました。民主党内での政策決定の最高機関である政調役員会に出席して意見を述べることとなります。役所の骨抜きを見張ったり、党内の不満が高まっていないかアンテナ役となったり、外からは見えにくい舞台裏を担います。中でも年末の予算編成と公務員制度については、特に強くサポートすることになります。

「守成」には諫め役が大事

中国の名君、唐の太宗(李世民。在位六二六〜六四九年)の統治のあり方をまとめた「貞観政要」(じょうがんせいよう)を最近読んでいます。徳川家康や明治天皇も愛読されたそうです。そのポイントは、①「創業」(天下を取ることに)以上に「守成」(天下を守ることに)は難しい、②守成で大事なのは良い人材の登用にあり、③部下は命がけで諫言し、トップはよく聞き入れると

いうもの。八月には国家公務員の給与引下げについて総理に諫言したところですが、今後とも、国民感覚からズレない政権運営をするよう、「諫(いさ)め役」として政調会長補佐を務めて参ります。

五兆円の経済対策で景気回復を

中小企業の経営者から円高で困っている話をよくお聞きします。十月八日、「円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策」が閣議決定されました。自治体が自由度を持って使える「地域活性化交付金」の創設、学校の耐震化の加速、中小企業の人材育成支援、農山漁村の六次産業化、円高を生かした海外のレアアース資源確保、子宮頸ガンの予防接種の促進、若者の就職支援対策などが盛り込まれ、約五・一兆円の補正予算として国会提出する予定です。対策決定に先立って野党の意見もお聞きし、実際に盛り込まれた内容もあります。政局ではなく政策重視の国会で、迅速に補正予算を成立させ、厳しい景気を少しでも回復させていきます。ご期待下さい。